

歩いて学ぶ哲学の道



東山 京の都を引き立てる屏風のような東山。遠望すると、人がふとんをかむって寝る姿にたとえられる。この山が形成されたのは900万年前頃。2億年前に海中で形成された層を地下にあった花崗岩がもちあけ硬質な岩石層が残ったとされている。なだらかな山だが谷は深く寒暖の差から紅葉の名所として知られ、古くは仙境の地であった。



法然院 延宝 8 年(1680)智恩院門主・万無上人により、法然上人が修行をした旧跡に建立された寺院。惠心僧都作の阿弥陀如来像を安置。境内には谷崎潤一郎の墓もある。



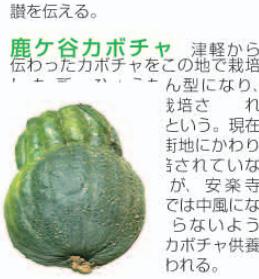
白沙村莊 橋本関雪は「玄猿」などで知られる日本画家。琵琶湖疎水を誘水して庭園をつくり自宅兼アトリエとしてその造営に力を尽くした。現在は公開され、画家が想い描いた境地をうかがい知る事ができる。



安楽寺 浄土宗の開祖法然上人の弟子住蓮上人と安楽上人によって開創された。後鳥羽上皇の女官、松虫姫鈴虫姫の出家の経緯をつづった安楽寺松虫姫鈴虫姫和讃を伝える。



浄土院 每年8月、京都五山送り火。東山如意ヶ岳の大文字で知られる。山上には弘法大師像がある。夜市も人気。



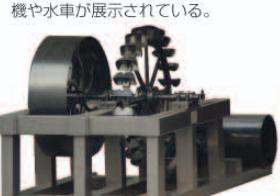
南禅寺 1264年龜山天皇が離宮禅林寺殿を造営。その後五山文学の中心地となる。22mの壮大な楼門は大阪夏の陣の戦死者を弔うために藤堂高虎により寄進された。南禅院、金池院など寺域に点在する塔頭には禪式枯山水の名庭園が多く残る大寺。



琵琶湖疏水記念館 琵琶湖疏水は、大阪湾と琵琶湖間の通船と京都市への給水のため開発された。大津で取水され南禅寺水路閣を通り、松ヶ崎の淨水場にいたる。1890年に完成した琵琶湖疏水は翌年には発電所が建設され京都市電の動力源にもなった。明治期の産業遺産として当時の発電機や水車が展示されている。



霊巣五山：南禅寺を別格の第一山とし、天龍寺／相国寺／建仁寺／東福寺／万寿寺。五山文化は禪宗を背景として漢詩、漢文、書画、建築、庭園などに表現された鎌倉から室町期の文化。



インクライン 琵琶湖の水運を利用した後、京都への物資輸送の最後の難所は蹴上から南禅寺までのインクラインでむづばれた。高差低36 mの傾斜に舟を台車にのせ 582mの行程をモーターでひきあげた。日本が産業国家へのスタートをきつた明治初期の遺構。生きた技術の宝庫。(地図の隣)



水路閣 南禅寺境内に残るローマ建築風の水路。橋の上が水路となり禅宗寺院の中で異彩を放つ建築だが、苔むした今では周囲にとては珍らしくなった。



A photograph of a traditional Japanese gate (mon) with a tiled roof, surrounded by trees and a stone wall. The gate is made of dark wood and has a curved roofline. There are some red and blue signs on poles near the gate.



南禅寺北門。ここまでが南禅寺境内。南から北への町並。



熊野若王子神社 平安時代初期の創建。聖護院の熊野神社、いま熊野神社とともに三大熊野として信仰をあつめてきた。建

